

第1学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和元年11月29日（金）

場 所 1年教室

学 級 第1学年15名

授業者 吉 田 由 香

1 単元名 「たのしいな あきのすみた ～②あきのおもちゃでたのしもう～」

2 単元について

（1） 題材について

本単元は、まず、住田町にある種山に行き、秋探しをする。事前に、昨年度種山学習を経験している2年生から種山学習の楽しさや約束などについて教えてもらったり、アドバイスをもらったりする。そして、2年生とグループを作って自然に親しむ活動を十分に行い、秋の種山の楽しさを味わう。種山学習では、種山について詳しいゲストティチャーを招き、木や木の実の名前や気を付けてほしいことなどを教えてもらう。そして、種山で見つけた木や木の実が、自分たちの学校の周りや近くの山にもないか調べてみる。さらに、拾ってきた秋の木の実や葉、枝などを使って簡単なおもちゃを作り、友達と一緒に遊ぶ活動を計画する。また、自分たちが年長児のとき、現在の2年生に招待されておもちゃで遊んだことを思い起こさせ、自分たちも年長児を招待して遊ぶ活動を計画し、交流する。

これらの活動を通して、地域の自然の楽しさやよさに気付く力を育てたり、友達や地域の人たちと楽しく関わる力を育てたりしていきたい。

（2） 児童について

児童は、これまで、学校探検をしたり、アサガオやヒマワリ、いろいろな野菜などの世話や観察をしたりしてきた。また、学校の周りや通学路で草花や生き物を探し、それらで遊びながら季節と触れ合ってきた。特に、アサガオの世話や観察では、小さな変化にもよく気が付いて成長を喜び、植物に対する関心の高さがうかがえた。地域創造学については、1学期のアンケートから「探検が楽しい」「観察がおもしろい」など、楽しんで活動していることが分かった。しかし、「観察や活動は好きだけど、絵や文をかくのが苦手」という意識がある。また、自分の考えを発表することに関しては、消極的だったので、発表に自信がもてるように声がけをしたり、友達から励ましをもらったりして、徐々に、自分の考えを最後までしっかり話すことができるようになってきた。伝え合うということに関しては、「～さんと同じで」「～さんと違って」と話しながら、自分の考えを話す話し方に徐々に慣れてきたところである。しかし、聞く姿勢がまだ不十分なので、聞くときは話す人の方を向いて聞くことや、自分の考えと比べながら聞くことを意識して聞くように指導している。

（3） 指導にあたって

本単元では、種山や近くの山で拾ってきた木の実などを使って、友達や園児（年長児）と遊べるおもちゃを作り、みんなで楽しむための計画を立てる。その際、常に相手意識をもたせ、振り返らせながら活動を進めていきたい。また、友達から作り方を学んだり、アドバイスをもらったりするなど、協力して活動することを通して、友達のよさを見付けさせたり、一緒に活動する楽しさを実感させたりしたい。さらに、園児を楽しませるために、園児のことを考えた遊び方やおもちゃの工夫を考えたり、どのようなもてなし方をすれば楽しんでもらえるかななどにも気付かせたりしていきたい。そのために、児童会行事などで、上学年の人た

ちが自分たちを楽しませてくれるためにどのようなことを考えて取り組んでいたのか、もてなす側に立った視点から振り返ったり、直接、上学年にインタビューをしたりする活動を通して、そのことに気付かせていきたい。また、自分たちが年長児のときに招待されて遊んだことも想起させながら、園児に楽しく遊んでもらうためにどんな工夫をしたらよいか話し合わせる。そして、まず、看板や飾り、ご褒美作りをさせる。次時となる本時では、自分たちが遊んでみたときのやり方で本当によいか、具体的におもちゃを提示して考えさせ、遊び方や制作物の見直しをさせる。そして、簡単な遊び方にしたり、おもちゃを改良したりした方がよいことに気付かせる。次に、自分たちが作ったおもちゃの見直しをさせる。そして、簡単な遊び方に変えたいところや改良したいところをシートに記入させる。そうすることで、同じおもちゃを作った友達に自信をもって伝えられるようにしたい。また、友達と交流させることで、自分と同じ考えや自分が気付かなかったことに気付かせたい。その際、自分たちが作ったおもちゃで遊ばせながら遊び方を見直させる。さらに、全体で交流させ、他のグループからもアドバイスをもらって参考にさせる。そして、簡単な遊び方にしたり、おもちゃを改良したりすることは、園児を楽しませることであり、園児への思いやりであることを再認識させたい。これらの活動を通して、友達と関わることの楽しさや友達と協力し合うことのよさを実感させたい。さらに、国語科や図工科の学習とも関連させ、横断的に学習を進めていくようにしたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の目標
社会的実践力	A【地域理解】	○学校周辺や種山の自然に触れたり、地域の人と活動したり、交流したりして、その楽しさ、よさに気付くことができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○地域の自然の楽しさ、よさに気付く、絵や言葉で表すことができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○友達と協力して活動し、友達や地域の人たちと楽しく関わるができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○地域の自然に関心を持ち、創作活動を通して、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。

(2) 評価規準

資質能力			評価規準
A ◎地域理解		【◎地】	・学校周辺や種山の自然に触れたり、地域の人と活動したり交流したりして、その楽しさ、よさに気付いている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・様々な体験活動の中から「楽しい」をたくさん見つけたいという気持ちを持ち、話し合いながら活動の計画を立てている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・様々な体験活動の中で、自分なりの「楽しい」を見つけ、その理由を考えている。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・様々な体験活動の中で見つけた「楽しい」について、絵や言葉などで表している。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・様々な体験活動に興味・関心を持ち、積極的に関わっている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げている。
C 資人	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりしている。

質資質能力 関係形成に	2 ☆協働する力	【☆協】	・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組んでいる。
	3 ★他者受容	【★受】	・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知ろうとしている。
D 自律的活動に 関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・地域の自然と自分の生活とのつながりに気付いている。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、発想したり創意工夫したりすることを 楽しんで活動している。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分でできるようになったことが増えて喜びを感じ、前向きに過ごそうと している。

4 単元の指導・評価計画（本時 第21時／全28時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
9		課題設定	1	・保育園のときの種山での自然体験を、スライドを見ながら振り返り、これからの活動について話し合う。		・B1 ☆見通す力 (ループリック)
		見通しをもつ 計画する・	2	・種山学習での活動内容を知り、きまりや約束について2年生からアドバイスをもらう。 ・2年生とのグループを作り、グループのめあてなどを話し合って決める。		・B1 ☆見通す力 (ループリック) ・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト)
		実施・改善・情報収集	2	・種山学習で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを集めたり、ネイチャーゲームを楽しんだりする。		・B4 ★好奇心・探究心 (振り返り) ・C2 ☆協力する力 (チェックリスト)
10・11	①あきをみつけよう	まとめ・振り返り	2	・種山学習で体験したことを紹介し合い、楽しかったことや気付いたことを発表し、カードに記録する。 ・お世話になった人（森の案内人・2年生）に、お礼の手紙を書く。		・A ◎地域理解 (チェックリスト) ・B3 ☆提案・発信す (ループリック)
		実施・改善・情報収集	2	・種山で見つけた秋（木の葉や実など）が学校の周りにもないか、秋探しをする。 ・学校の周りや近くの山（上有住城跡公園）の木の名前を調べたり、木の葉や実などを集めたりする。		・B4 ★好奇心・探究心 (振り返り) ・C2 ☆協力する力 (チェックリスト)
		まとめ・振り返り	2	・学校の周りや近くの山（上有住城跡公園）で見つけた秋について、楽しかったこと、気付いたことを発表し、カードに記録する。 ・道徳の学習と関連付けながら秋探しの活動を思い出し、自分たちの住んでいる町のことについて振り返る。	【国語 「しらせたいな、見せたいな」「まちがいをなおそう」「かん字のはなし」】 【道徳 伝統文化の尊重・国や郷土を愛する態度】	・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト) ・B3 ☆提案・発信す (ループリック) ・A ◎地域理解 (チェックリスト)

10・11	②あきのおもちゃでたのしもう	実施・改善・情報収集	8	<ul style="list-style-type: none"> ・種山で拾ってきた木の実などを使って何をしたいか話し合う。① ・拾ってきた木の実などで、アサガオリースに飾りをつけて楽しむ。① ・友達や園児（年長児）と遊べるおもちゃや楽器など、作りたいものを考え、制作する。③ ・みんなで作ったおもちゃで遊ぶ。① ・より楽しく遊ぶために、遊び方や制作物を見直し、改良する。① ・改良したおもちゃで、もう一度遊ぶ。① 	【図工「プレゼントをどうぞ」】	<ul style="list-style-type: none"> ・B4 ☆好奇心・探究心（振り返り） ・D2 ☆創出する力（チェックリスト） ・B2 ☆多角的・多面的に考える力（チェックリスト） ・D3 ★自己肯定感（チェックリスト）
		計画する・見直しをもつ	3（本時2・3）	<ul style="list-style-type: none"> ・園児（年長児）と一緒に遊ぶ計画を立てる。（看板やごほうびなどの制作）① （遊び方や制作物の見直し）① 本時 （遊び方や制作物の改良）① 		<ul style="list-style-type: none"> ・C1 ☆伝え合う力 ・C3 ★他者受容（ループリック）
			2	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことをもとに、園児（年長児）と一緒に遊ぶ準備をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・D2 ☆創出する力（チェックリスト）
		実施・改善・情報収集	2	<ul style="list-style-type: none"> ・園児（年長児）と、作ったおもちゃで一緒に遊んで交流する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・A ◎地域理解（チェックリスト） ・C2 ☆協働する力（チェックリスト）
		まとめ・振り返り	2	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったことをカードに記録する。 ・これまでの活動を振り返り、住田の「楽しい」について確かめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・A ◎地域理解（チェックリスト） ・B3 ☆提案・発信する力（ループリック）

5 本時の指導

（1）目標

保育園児に楽しく遊んでもらうために、友達と話し合っ、遊び方の工夫を考えることができる。

【C1 人間関係形成に関する資質・能力 ☆伝え合う力 ★他者受容】

（2）評価について

○本時のループリック（観察・ワークシート）

パフォーマンス課題		・園児に楽しく遊んでもらうために、友達と話し合っ、遊び方を工夫する。
みとる資質能力		・C1 人間関係形成に関する資質・能力 ☆伝え合う力 ★他者受容
パフォーマンスの特徴	A	・友達と話し合う活動を通して、園児が楽しめるように遊び方を簡単にしたり、制作物の改良点を具体的に考えたりして、積極的に発言している。また、友達の考えを聞いて、そのよさも受け入れ、遊び方や制作物に生かしている。
	B	・友達と話し合う活動を通して、園児が楽しめるように簡単な遊び方や製作物の改良を考えたり、友達の考えを聞いたりして、そのよさも受け入れている。
	C (支援の手立て)	・園児が楽しめるように、園児には簡単な遊び方のほうが分かりやすく楽しめることに気付かせる。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	※指導上の留意点 ◆評価
導入 10分	1 前時の学習を想起する ・看板やごほうびなどを制作したことを想起する。 ・園児を楽しませるために、自分たちと同じ遊び方でよいか話し合う。 2 学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ぞうぐみさんにたのしくあそんでもらうためには、どんなあそびかたにすればよいのだろう。 </div>	・看板やごほうびの制作は、何のためにしたのか振り返らせる。 ・自分たちが遊んだ遊び方で本当によいか、課題意識をもたせる。
展開 28分	・「まとあてゲーム」の遊び方を提示し、変えた方がよい点を話し合う。 3 自分の考えをもつ ・自分たちが作ったおもちゃの遊び方の見直しをする。 4 交流をして考えを深める ・同じおもちゃを作ったグループで、考えを交流し合う。 ・全体で交流し合う。	・具体的におもちゃを提示して話し合わせ、簡単な遊び方にしたり、おもちゃを改良したりした方がよいことに気付かせる。 ・簡単な遊び方に変えたいところや改良したいところをシートに記入させる。(シート) ・シートに記入させることで、自信をもって友達に伝えられるようにする。 ・交流させることで、自分と同じ考えや自分が気付かなかったことに気付かせ、考えを深めさせる。 ・自分たちが作ったおもちゃで遊ばせながら遊び方を見直させる。 ・全体で、見直した点を発表し合い、他のグループからもアドバイスをもらって、考えを深めさせる。 ・遊び方を簡単にしたり、改良したりしたことは、園児を楽しませるため、園児への思いやりであることを確認する。
まとめ 7分	5 学習を振り返る ・本時の学習課題について振り返る。 (評価の観点について) 6 次時の学習内容を確認する	◆評価 ・友達と話し合う活動を通して、園児が楽しめるように簡単な遊び方や製作物の改良を考えたり、友達の考えを聞いたりして、そのよさも受け入れている。 (ループリック・観察・ワークシート) ・次時は、話し合ったことをもとにおもちゃを改良することを確認する。

